

- ・棚倉町では、現在、ふくしま森林再生事業等の各種森林整備を進めている。
- ・令和4年度は、観光地やレジャー施設に隣接する森林の災害や被害改善のための森林整備を主として実施した。

□ 事業内容

1 森林整備

- ・観光地の倒木のおそれがある樹木の選定及び伐採(城跡地内、山本キャンプ場)
- ・レジャー施設の鳥獣被害改善のため隣接する森林の整備伐採(ルネサンス棚倉)

【事業費】 21,780千円(うち譲与税21,780千円)

【実績】 ・樹木剪定42本、樹木伐採36本 ・枯損木伐採50本
・受光伐2.9ha 作業道440m

2 その他

【事業費】 1,450千円(うち譲与税1,450千円)

- ・林道維持補修(管理)
- ・下刈り業務委託

3 基金積立

【事業費】 2,866千円(うち譲与税2,866千円)

□ 工夫・留意した点

- ・災害防止等の観点から事業選定をした。
- ・整備地においては、公共性を重要視し選定をした。

□ 取組の効果

- ・災害の恐れがある木を伐採することで災害のリスクが低下している。
- ・子供も含め町民が安心して利用できる施設となっている。
- ・森林の公益的機能の増進
- ・林道の修繕等により、事故や災害を未然に防止するとともに、森林への意識を高める。

□ 取組の背景

○森林に関連する観光地において多数の来場者が見込まれる中、枯木や倒木などが目立ち、災害の恐れがあることから譲与税を利用し整備する運びとなった。

○レジャー施設においては競技用テニスコートのサギの糞被害がひどく利用者に影響が出ていたため、隣接する山林を整備する運びとなった。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額	26,096千円
②私有林人工林面積(※1)	3,041.92 ha
③林野率(※2)	74.3%
④人口(※3)	13,343人
⑤林業就業者数(※3)	84人

※1:「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より

※2:「2020年農林業センサス」より

※3:「R2国勢調査」より